

震災復旧特集号

社会福祉法人苗場福祉会

広報 みさと

中魚沼郡津南町大字芦ヶ崎乙317番地1 電話 025(765)3400番

ホームページ <http://www.naebafukushikai.com>

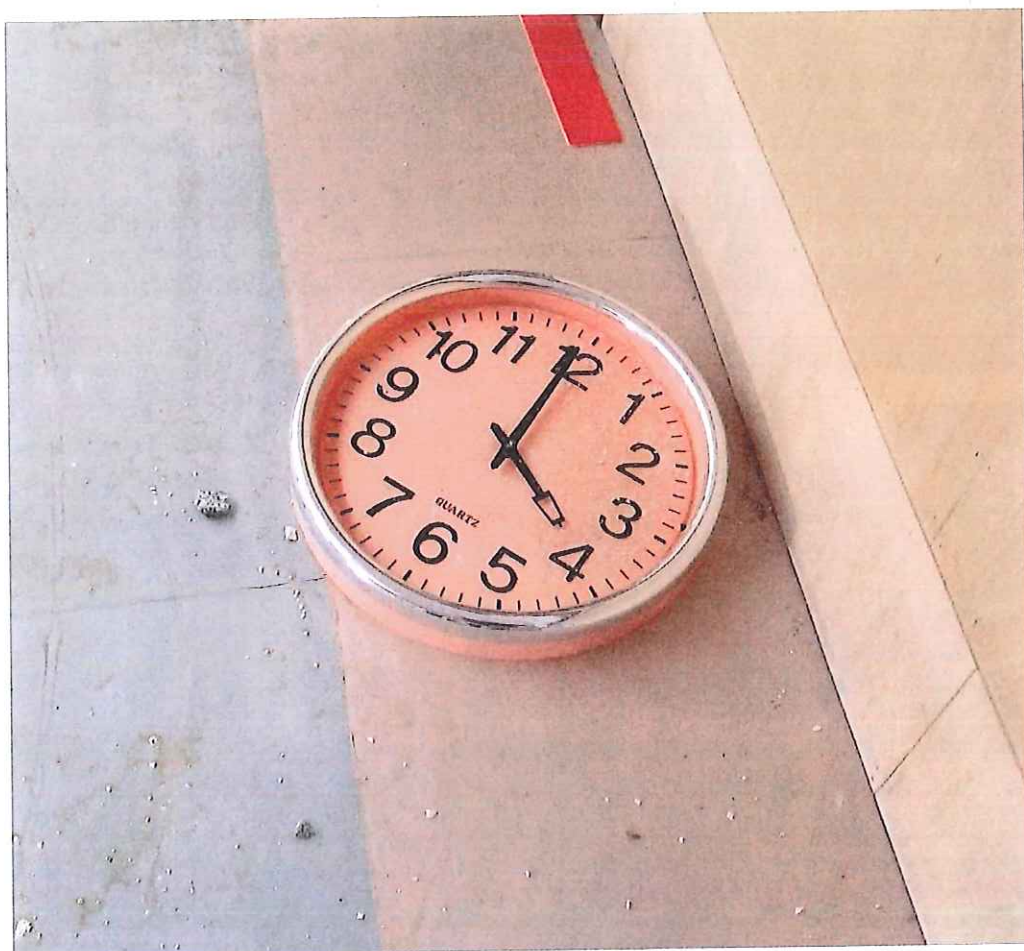
苗場福祉会

検索

社会福祉法人苗場福祉会

介護老人保健施設 みさと 苑
 ケアハウス リバーサイドみさと
 グループホーム ひまわり
 通所介護 健康増進センター みさと
 健康倶楽部 十日町
 グループホーム ゆきんこ
 健康倶楽部 中子の森
 グループホーム 深たむかぐら
 健康倶楽部 ちばわ
 グループホーム たみかざ
 健康倶楽部 みわぐら
 グループホーム ささこころの杜
 特別養護老人ホーム こぎざわ
 健康倶楽部 雪割草
 グループホーム 雪割草
 健康倶楽部 さくら館(千歳町)
 特別養護老人ホーム さくら館(千歳町)
 アーバンリビング 鳥屋野
 ケアハウス 津南

編集：苗場福祉会広報委員



この度の東日本大震災および
 長野県北部地震により被害を受けられた
 皆様に心よりお見舞い申し上げます

3月12日午前3時59分に発生した新潟長野県境を中心としたM6.7の地震では、津南町の施設でも大きな被害を受けました。隣接した長野県栄村では震度6強を記録しています。

それと同時に3月11日に発生した東日本大震災では、支援活動も行いました。

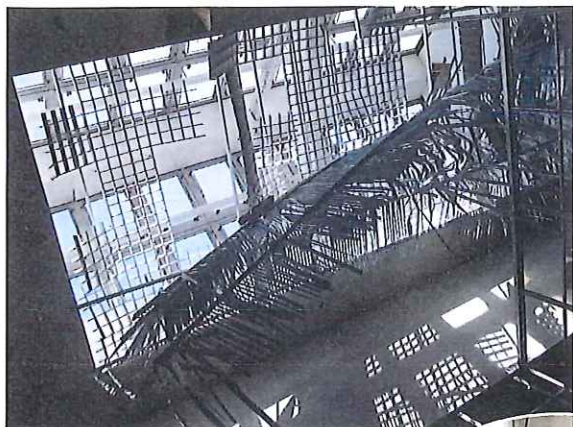
今号では、その模様をご報告します。



津南町の被災状況と 復旧に向けた活動について

3月11日の東北関東地方の大震災に驚き、支援活動を始めようとしていた矢先、12日午前3時59分に新潟・長野県境を震源とするM6.7の地震が発生しました。隣の長野県栄村では震度6強を記録し、津南町役場でも震度6弱を記録しましたが、ここみさと苑を中心とするエリアは長野県に程近く、正に震源地のすぐ近くであることは間違いありません。津南町でも長野県に近い上郷地区や信濃川沿い（特に西側）に大きな被害がありました。

天窓のブラインドが落下（みさと苑）

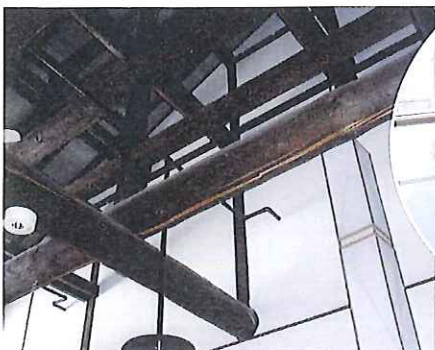


壁がはがれ、天井板が落下した居室（みさと苑）



この地震によって介護老人保健施設みさと苑を始めケアハウスリバーサイドみさと、グループホームひまわり、スマイルホームこたね、ケアハウス津南などの施設が被災しま

した。
特にみさと苑はスプリンクラーの配管が損傷したため、水漏れがひどく未だに復旧出来ていません（4月20日現在）。



太い梁に亀裂が…
（グループホームひまわり）



居室は水浸し
（みさと苑）



多目的ホール
（ケアハウス津南）

いたるところに亀裂が生じている
（ケアハウス津南）



大サウナのレンガも崩れた
（ケアハウス津南）



建物が土台からずれたため、サッシの枠がゆがみガラスも割れた（ケアハウス津南）



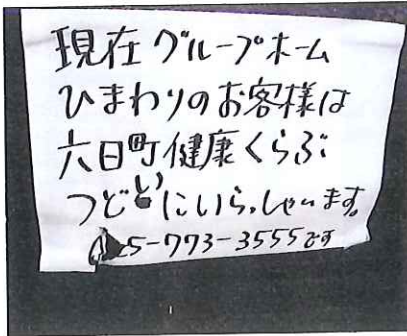
3月12日3時59分

M6.7の地震発生

急ぎ、入所されているお客様を比較的損傷の少ない通所リハビリのフロアへ避難。

中越地震を機に準備していたおかげなどの非常食がここで役立つ。苗場福祉会の他施設、近隣の施設に受入れ要請をし、順次移動。12日中に全てのお客様の移動を終えることができた。

みさと苑入所者110名、リバーサイドみさと50名、グループホームひまわり15名が避難。



14日 健康増進センターみさとでみさと苑通所のお客様を受入れ開始。
17日 スマイルホームこたね 再開。比較的被害は少なかった。

21日 クアハウス津南 使用可能な箇所から一部営業開始(プール、バーデゾーンの一部、トレーニングルーム)。

24日 グループホームひまわり復旧。15名のお客様が戻られる。



24日 クアハウス津南 大サウナ復旧。
31日 リバーサイドみさと一部施設利用可能となり、18名のお客様が戻られる。まだ居室は工事のため、レクリエーションルームなどでお休みいただいた。居室の工事が済み次第順次入居。

4月1日 クアハウス津南 多目的ホール、体育館復旧。

4月8日 リバーサイドみさとにみさと苑のお客様31名が戻られる。

4月14日 みさと苑通所のお客様をお迎えするためにクアハウス津南の多目的室の一部を仕切り、通所フロアとする工事を行った。

受入れをして下さった施設

- ・財団法人 上村病院(療養病棟様)
- ・介護老人保健施設
- ・介護老人保健施設 レインボーヴィラ清津様
- ・津南町立津南病院様
- ・介護老人保健施設 松涛園様
- ・介護老人保健施設 きたはら様
- ・小規模特養ホーム 恵福園なかつ様
- ・特別養護老人ホーム あかね園様
- ・特別養護老人ホーム 三好園様
- ・特別養護老人ホーム 三好園様
- ・特別養護老人ホーム 三好園しんざ様
- ・養護老人ホーム 妻有荘様

以上の施設の方々には快く受入れをご承諾いただき、本当にありがとうございました。

おかげさまで持ちまして、12日中にお客様の安全を確保することが出来ました。

苗場福祉会の受入れ施設

- ・健康倶楽部十日町 (十日町市)
- ・健康倶楽部たちばな (十日町市旧川西町)
- ・健康倶楽部つどい (南魚沼市)
- ・健康倶楽部中子の森(小千谷市)
- ・健康倶楽部かわぐち (長岡市旧川口町)
- ・特別養護老人ホームこころの杜 (南魚沼市)
- ・スマイルパートナーズ (南魚沼市)
- ・スマイルハウスつなん

いち早く動いて下さった福祉用具業者の方もいらっしゃいます。12日に早速福祉用具屋さんへ、ベッドを20台貸して下さいましたし、リネン類を貸して下さいました業者の方もいらっしゃいます。

また、多くの方々の人的支援もいただきました。

- ▼ 社会福祉法人 桜井の里福祉会様
- ▼ 社会福祉法人 つばめ福祉会様
- ▼ 社団法人 新潟県介護福祉士会様
- ▼ 新潟県認知症高齢者グループホーム協議会様
- ▼ 災害福祉広域支援ネットワーク・センターバード様
- ▼ 医療法人社団 慶友会キタムラ 介護老人保健施設 春風堂 様

総勢延べ75名ものの方々にご支援をいただきました。心から感謝申し上げます。



健康倶楽部つどい (南魚沼市) へ来て下さったボランティアの方

4月20日現在、みさと苑だけが未だ復旧しておらず、地域の皆様には大変ご不便とご心配をお掛けしており、大変申し訳ございません。また、修理の規模がどの程度になるのか、復旧がいつになるのかはつきりした

各施設からのレポート

避難した施設として

介護老人保健施設 **みさと苑**

津南町

3月12日午前3時59分。
長野県北部を震源とする地震によって当施設は大きな被害を受けた。電気もつかない、スプリンクラーの配管等が断裂し天井からお湯が噴き出ている、床は川のように…。これは夢!?!いや現実である。そんな中で、お客様・職員にケガなく避難出来たことは本当に良かった。たくさんの方々の協力のおかげで、お客様全員を無事に避難先へと送り出すことができた。静まり返った活気のない施設はともさみしく感じられ自然と涙が溢れ

ことが分からない状態ですが、5月末の再開を目指しています。一日も早い復旧に全力を挙げておられますので、今しばらくお待ちください。使用可能になった箇所から順次再開をして参る予定です。

てくる。しかし、辛さに打ちひしがれている暇はなく、お客様の為に、一日も早い復興を目指す!!職員全員が動き出した。

現在もまだ避難先での生活ではあるが、お客様にも笑顔が見られるようになってきた。

そんなお客様の笑顔に、私達職員は励まされている。

雪解けとともに私達の歩みも一歩前に進んでいる。新緑が眩しくなってくる頃にはお客様、職員が全員揃って、大きな声で笑っている、そんな気がする。

(介護老人保健施設みさと苑

看介護長 根津佳代子)

リバーサイトみさと

津南町

3月12日に発生した長野県北部を震源とする地震によりリバーサイトみさとも食堂や機械室、各居室等々施設が被災しました。この地震により、お客様全員が一時避難を行なうなど、ご利用者様、ご家族様に多大なご心配とご不安を与えたことに對しまして、深くお詫び申し上げます。また、緊急にも関わらず、ご利用者様を温かく受け入れてくださった各施設の皆さまに御礼申し上げます。
「リバーサイトみさと お客様の各避難先」

- ・ 恵福園なかつ様 15名
- ・ 三好園様 4名
- ・ 三好園しんぎ様 4名
- ・ あかね園様 2名
- ・ 妻有荘様 2名
- ・ スマイルパートナーズ様 3名
- ・ ご自宅 19名

地震による被害

▼居室の様子



▲2階廊下



皆さまが元気に施設へお戻りいただけただけのこと…ご家族様、各施設の職員様のご協力あつてのことと思えます。ありがとうございます。

グループホームひまわり

津南町

まず初めに、ひまわりのお客様を受け入れて下さった「健康倶楽部つどい」の方々に大変感謝申し上げます。

3月11日の東日本大震災の大きな揺れに不安を抱えながら、また流れてくる東北の悲惨な状況に戸惑いと悲しみを感じ中越地震の経験から何度も来るであろう余震に備えていました。11日の夕食はガスをなるべく使用しない様に非常食を使用しましたが、夕食後からは何かしらの異常から水が出ない状態になり、洗い物も出来ずにいました。夜勤者とは、大きな揺れが来た場合についての確認をし万が一に備え、勤務者を一人多く配置をしていました。そして、そんな中の12日早朝に栄村を震源とするとても大きな地震が起きました。当日は、とても大きな地震、度重なる大きな余震に不安を隠せませんでした。電気は通っていましたが、ガスはガス漏れの危険がある為使用できず、水は相変わらず前日より断水している状態でした。建物には大

きな被害は出ませんでした。食器棚の中の物は散乱し、洗濯場のスチール棚やテレビ等は倒れ電気の傘なども落ちていました。大きな余震が来る度に恐怖を感じずにはいられませんでした。

避難口である玄関先に皆さん集まって頂き大きな余震から暖房器具も使用できず、毛布にくるまりながらただただじっとしているしかできませんでした。もともと帰宅要求の強いお客様がいらつしやり、強い揺れを感じてもすぐに忘れてしまわれ繰り返し繰り返し外に出ようとされるので、職員は付きつきりに対応をしていました。

つどいへの避難が決まったのはお昼前頃でしたが、とても時間が長く感じられました。幸いな事にお客様が全員ご無事で、また体調面や精神面でも大きなお変わりがなく過ごされた事を有難く思っております。

ひまわりのお客様はグループホーム花木水木（健康倶楽部つどい）のワンフロアをお借りする事ができ、職員も離れ離れになる事なく過ごせた事は大変有難い事でした。必要な物をすぐに用意して下さったり、支援助資の振り分けなどして頂いた事にもただただ感謝のみです。

（グループホームひまわり

所長 山田智子）

避難者を受け入れた施設として

健康倶楽部

つどい

南魚沼市

グループホーム花木水木にてグループホームひまわりのお客様を12名受け入れました。

狭いスペースながらも、職員が工夫し何とかお客様に安心して過ごして頂けるようケアしていました。

グループホームひまわりのお客様は3月24日にお戻りになりました。

まだまだ余震が続くとはいえやはり津南に戻れると聞いたご本人達の笑顔は格別でした。

（健康倶楽部つどい所長 西野一巳）

特別養護老人ホーム

南魚沼市

被災された津南事業部のお客様をこのころの杜へ移送しました。とても不安な表情をされていましたが、幸いにもお天気がよかったです。少し救われた気持ちになりました。

しかし、疲れた体をゆっくり癒していただけよう個室を用意できず、多目的室にて過ごしていただ



きました。

急遽大勢の給食を作ることになった栄養科は、いち早く温かい食事をみなさんに提供できるように頑張りました。

みさと苑の職員も峠を越えた津南町・十日町より通ってきています。

また、新潟県介護福祉士会の皆様からボランティアに来ていただき、



風船ゲームなどをして体力が落ちないように工夫して下さるなど多くのご支援をいただいています。現在はお客様、職員とも笑顔で過ごしています。一刻も早く、皆さんが住み慣れた元の場所へ帰れるように、早い復旧を心から望んでいます。